

**令和2年度第43回全国高等学校柔道選手権栃木県大会の開催について**

標記大会を下記のとおり開催することといたしました。

つきましては、貴校関係職員(部活動指導員等)・生徒の参加について特段の御配慮をお願いいたします。

## 記

- 1 主催 栃木県柔道連盟 (公財) 全国高等学校体育連盟柔道専門部
- 2 主管 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部
- 3 期日 令和3年1月22日(金) 開場8:00 男女個人試合 審判監督会議概ね10:10  
令和3年1月23日(土) 開場8:00 男女団体試合 審判監督会議9:30
- 4 会場 栃木県武道館(宇都宮市西川田4-1-1 TEL028-684-2200)
- 5 競技方法及び規定
  - (1) 試合は国際柔道試合審判規定(2017-2020)最新版によって行う。
  - (2) 男子団体試合は勝ち抜き試合、女子団体試合は点取り試合とする。
  - (3) 団体試合及び個人試合男女ともにトーナメント方式で行う。
  - (4) 試合時間について
    - ①男子団体試合・男子個人試合はベスト8より4分、その他は3分、無段者部はすべて3分とする。
    - ②女子団体試合・女子個人試合は準決勝より4分、その他は3分、無段部はすべて3分とする。
    - ③延長戦(ゴールデンスコア:以下GS)は時間制限を設けない。
  - (5) 優勢勝ちの判定基準について
    - ①団体試合は、「技あり」または「僅差」以上とする。チームの内容が同等の場合は代表選手を任意で選出して代表戦を行う。代表戦で得点差が無い場合は、延長戦(GS)により勝敗を決す。延長戦における優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決す。※「僅差」は指導差2とする。「技の内容」と「指導」の重みは【一本勝ち=反則勝ち>技あり>僅差】の順とする。
    - ②個人試合は「技あり」または「僅差」以上とする。技による得点が同等の場合は延長戦(GS)を行い、「技あり」以上または指導差が出た時点で勝敗を決す。※「僅差」は指導差2とする。
  - (6) 男女団体・個人試合ともに3位決定試合を行う。男子団体試合は5~8位の決定試合を行う。決定方法は準々決勝試合同ブロック敗者同士の試合を行い、次に勝チーム同士で5・6位決定試合、負チーム同士で7・8位決定試合を行う。
  - (7) 団体試合における勝敗の決定について
    - ①男子の部
      - ア 最終試合者同士の試合が引き分けの場合、代表選手を任意で選出して代表戦を行う。
      - イ 代表戦の「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」または「僅差」(指導差2)以上とし、試合終了時に得点差がない場合、もしくは指導差1以下の場合、GS方式の延長戦を時間無制限で行う。
      - ウ 延長戦は「技あり」以上の得点があった時点、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了。
      - エ 代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、GS方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決す。
      - オ 延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度、GS方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決す。
    - ②女子の部
      - ア 勝ち点の多いチームを勝ちとする。
      - イ アで同等の場合は、「一本」勝ちの多いチームを勝ちとする。※一本勝ち=反則勝ち
      - ウ イで同等の場合は、「技あり」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
      - エ ウで同等の場合は代表試合を行う。
      - オ 代表戦は「引き分け」対戦の中から抽選で選び、GS方式の試合を時間無制限で行う。代表戦は、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、「引き分け」対戦がない場合は、両者「反則負け」などで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで2名しかおらず、「引き分け」対戦がない場合などは、代表選手をすべての対戦の中から抽選で選出して、GS方式の試合を時間無制限で行う。
      - カ 代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度、GS方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決す。
  - (8) 男女団体優勝校および男女個人戦(無段者の部を除く)優勝者は3月19日(金)・20日(土)日本武道館において開催される第43回全国高等学校柔道選手権大会出場権を得る。
- 6 参加資格及び制限
  - (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校および中等教育学校・高等専門学校に在籍する生徒。
  - (2) 栃木県高等学校体育連盟に加盟している高等学校・および中等教育学校・高等専門学校生徒で、(公財)全日本柔道連盟に2020年度登録が完了した者。
  - (3) 平成14年4月2日以降に生まれたもの。ただし同一学年での出場は1回限りとする。
  - (4) 選手は団体・個人試合の出場を兼ねてよい。また、団体と個人試合を一連の試合とはしない。
  - (5) 転校後、6ヶ月未満の者は、参加を認めない。(外国人留学生もこれに順ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
  - (6) 外国人留学生は卒業を目的として入学している者(短期留学は認めない)とする。
  - (7) 団体試合について
    - ①男女とも1校1チームとし、全・定・通の混成は認めない。
    - ②男女とも外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。
    - ③男子チームの編成は、監督1名、選手6名の計7名とする。(選手3名以上で出場可)

- ④女子チームの編成は、監督1名、選手3名・補欠2の計6名とする。（選手2名以上で出場可）
- ⑤女子の体重区分は次のとおりとする。  
先鋒：52kg以下、中堅：63kg以下、大将：無差別とする。ただし、体重の軽い者は重い階級に出場することができる。
- ⑥男子は毎試合オーダーを決定できる。
- ⑦申し込み選手に事故が起き、選手を変更する場合は大会当日の審判・監督会議までに、校長の証明書を添えて申し出たもののみ認める。ただし、変更選手2名までとする。
- ⑧シードは、同年度栃木県高等学校新人柔道大会において、男子ベスト8・女子ベスト4とする。
- ⑨合同チームでの参加を推奨する。

(8) 個人試合について

- ①男子（7階級）男子の体重区部は次のとおりとする。
  - ・60kg級→60kg以下の者・66kg級→60kgを超え66kg以下の者
  - ・73kg級→66kgを超え73kg以下の者・81kg級→73kgを超え81kg以下の者 **・無差別級**
  - ・無段者の部軽量級（-73kg以下の者）・無段者の部重量級（73kgを超える者）

※1校4名以内で、別枠は設けない。体重別の試合と無段者の部との重複は不可とする。  
※シードについては2020年度シード権に準ずる。シード選手が欠場した場合は繰り上げる。
- ②女子（6階級）女子の体重区分は次のとおりとする。
  - ・48kg級→48kg以下の者・52kg級→48kgを超え52kg以下の者
  - ・57kg級→52kgを超え57kg以下の者・63kg級→57kgを超え63kg以下の者 **・無差別級**
  - ・無段者の部（無差別）

※団体・先鋒（52kg以下に登録した場合）＝個人は、48・52・無差別のいずれかに登録できる。  
※団体・中堅（63kg以下に登録した場合）＝個人は、全階級・無差別のいずれかに登録できる。  
※1校のエントリー数に制限は設けない。**体重別試合と無段者の部との重複は不可とする。**  
※シードについては、別紙2020年度シード権に準ずる。シード選手が欠場した場合は繰り上げる。
- ③選手の変更は組合せ抽選の前までとし、様式は団体試合に準ずる。
- ④外国人留学生の参加人数の制限は設けない。

7 計 量

- (1) 日時：1月22日（金） 概ね9：00～10：00（試合会場完成後20分程度）
- (2) 回数：2回まで認める。2回目でクリアしない場合は失格とする。  
※団体試合のみ出場校の選手は、1月23日（土） 8：30～9：20の計量を可とする。
- (3) 予備軽量：1月23日（土）概ね8：00～9：00 1月24日（日）概ね8：00～8：30
- (4) 計量時の服装については、原則として男子は短パン（またはスパッツ）のみ、女子は上がTシャツで下が短パン（またはスパッツ）とする。
- (5) 男子無差別に出場する選手の計量は行わない。女子は参加選手全員を計量する。

8 参加申込

- (1) 申込み方法 ※以下の①・②の手順を両方必ず行うこと。
  - ①専門部のホームページより申し込みファイル（エクセル形式）をダウンロード→データを入力→プリントアウト→校長・監督印を捺印した申込書を郵送。（吉澤委員長宛）  
※栃木県柔道連盟 → 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部 → 大会要項・申込み  
※HPアドレス <http://tochigikoutairenjudo.info/index.html>  
※女子個人各階級の申込み人数が4名を超えた場合、No.2シートも使用する。
  - ②データを入力した申込みファイル（EXCEL形式）を電子メールに添付し送信。（樋山委員宛）
  - ③FAXによる申込は不可。大会不参加の場合のみ、所定の用紙に記入しFAXにて回答する。
- (2) 申込先 ①郵送 321-0973 宇都宮市岩曾町606 県立宇都宮北高等学校内 吉澤 貴志 宛  
②電子データ 県立烏山高等学校内 樋山 賢一 宛 送信 [hiyama-k04@tochigi-edu.ed.jp](mailto:hiyama-k04@tochigi-edu.ed.jp)
- (3) 申込締切 令和2年1月14日（木）必着とする。 ※以後の申込は一切受付ない。
- (4) その他 大会参加に際して提供される個人情報は大大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

9 参加料

- (1) 団体試合①男女各5,000円（男女出場の場合は10,000円）②合同チーム1名につき1,000円
- (2) 個人試合1,000円（1名分）

10 組合せ

令和3年1月19日（火）柔道専門委員会の責任抽選によって決定する。

11 安全管理

- (1) 大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については、栃高体連の「危機管理マニュアル」に則り、適切に対応する。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大防止に関しては、栃高体連「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」に則り、感染防止対策を講じる。

12 その他

- (1) 専門委員会 令和3年1月19日（火）13：30～ 栃木県新武道館会議室3・4
- (2) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
  - ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
  - ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
  - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け許可を得ること。
  - ④当該選手の指導者は、大会事務局および（公財）全柔盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (3) 皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (4) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（赤ラベル）を着用すること。帯については青ラベルでもよい。また、女子の帯は白線の入っているものでもよい。
- (5) ゼッケン使用のこと。
- (6) **大会参加にあたっては、本人・保護者の同意を得ること。**
- (7) 8:00開場後、直ちに試合会場の準備を行うので、御協力願います。

栃高体連柔道専門部 委員長 吉澤 貴志 栃木県宇都宮北高等学校 TEL 028-663-1311
---